

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報 (H23.4.1現在)				
名称	株式会社吉備高原都市サービス	事務所の所在地	加賀郡吉備中央町吉川4860-6	
代表者	代表取締役社長 古矢博通	設立年月日	平成3年11月1日	
資本金	150,000千円	うち県出資金	50,000千円	県出資比率 33.3%
役員	7人	職員	2人	決算時期 3月
設立目的	吉備高原都市内の公共・公益的施設、その他居住者の利便施設や居住環境の維持管理を行い、潤いと憩いの場を提供し、快適な都市環境の形成を図る。			
主な事業	○吉備高原都市業務商業ビル（きびプラザ）の運営 ○吉備高原都市センター区広場の管理運営 ○吉備高原都市自然レクリエーション区など県有施設の維持管理			

経営実績と財産の状況 (単位:千円)							
	H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)	
当期収入(営業収益、営業外収益等) A	139,863	139,663	88,204	76,082	75,071	78,437	
うち県支出金 B	79,833	79,804	40,745	32,869	30,713	30,636	
県支出金の割合(B/A)	57.1%	57.1%	46.2%	43.2%	40.9%	39.1%	
当期費用(営業費用、税等) C	137,830	147,914	85,854	73,582	72,540	78,037	
当期利益(A-C)	2,033	△8,251	2,350	2,500	2,531	400	
総資産 D	174,628	174,635	164,952	167,272	169,561		
主なもの	現金預金	112,801	116,581	83,616	93,632		141,551
	投資有価証券			40,018	40,004		
	建物	7,723	7,459	7,409	7,127		6,920
総負債 E	13,531	21,789	9,756	9,576	9,334		
資本 F=D-E	161,097	152,846	155,196	157,696	160,227		
うち資本金 G	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000		
当期末処分利益(F-G)	11,097	2,846	5,196	7,696	10,227		
経営実績と財産の状況についての評価	・県の財政構造改革プランに伴う県支出金の減等により、1,011千円の収入減となっている。 ・借入金はなく、資産も現金預金が大部分を占めており、財務状況は安定している。						

役員職員の状況							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23
役員	総数	8	8	8	7	7	7
	常勤	1	1	1	1	1	1
	うち県派遣職員						
	非常勤	7	7	7	6	6	6
	うち県職員	2	2	2	2	2	2
職員	総数	5	5	3	3	2	2
	常勤	5	5	3	3	2	2
	うち県派遣職員						
	非常勤						

岡山県からの支出の状況 (単位:千円)							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)
県支出金	委託料	71,493	72,117	28,176	22,923	18,943	17,815
	補助金						
	短期貸付金						
	負担金	8,340	7,687	12,569	9,946	11,770	12,821
その他	長期貸付金(年度末残高)						
	損失補償限度額						
	損失補償契約に係る債務残高						
	債務保証限度額						
	債務保証契約に係る債務残高						

株式会社吉備高原都市サービスの概要

1 設立の目的

吉備高原都市内の公共・公益的施設、その他居住者の利便施設や居住環境の維持管理を行い、潤いと憩いの場を提供し、快適な都市環境の形成を図る。

2 設立の年月日

平成3年11月1日

3 代表者

代表取締役社長 古矢 博通（平成21年6月4日就任）

4 資本金

150,000千円（うち岡山県出資金50,000千円）

5 事業

- (1) 吉備高原都市業務商業ビル（きびプラザ）の運営
- (2) 吉備高原都市センター区広場の管理運営
- (3) 吉備高原都市自然レクリエーション区など県有施設の維持管理

6 役員（平成23年6月30日現在）

取締役 5名

監査役 2名

株式会社吉備高原都市サービス事業概要

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

ー第20期事業報告書よりー

吉備高原都市につきましては、昭和50年の基本構想策定以来、緑豊かな自然環境を生かしながら、各領域にわたる高度な機能を備えた魅力ある都市として、人と人、人と自然がふれあえる新しいコミュニティ都市を目指して建設が進められてまいりました。

当社は、吉備高原都市センター区の核となる「きびプラザ」と「さんさん広場」の管理運営を主な目的として平成3年に設立されました。

平成22年度には吉備高原都市産業区内に新たに、米粉パン製造関連施設が操業を開始し、都市の整備が一層図られたところであります。

第20期の営業状況であります。テナントに関しましては、前年度1件の退去はあったものの誘致に努めた結果、新たに保険会社と整骨院が入居しました。

しかし、家賃収入は増加したものの、県からの受託収入の大幅な減少により、営業収益は、74,139千円と前年に比べ666千円の減少となりました。

一方、支出面におきましては、石油価格の上昇等による光熱水費が増加となりましたが、人員の削減や給与カットさらには、関連経費の削減を図った結果、営業費用は72,243千円と前年に比べ1,042千円減少いたしました。

これによりまして、営業利益は、1,896千円となり、営業外利益931千円を加えた経常利益は、2,827千円となりました。税引前当期純利益は2,827千円で、税引後当期純利益は2,531千円を計上することができました。

来期以降もこれまでにない厳しい経営状況が予想されますが、岡山県や吉備中央町をはじめ関係皆様方のご協力を頂きながら新規テナントの誘致や都市のにぎわいの創出に努め、さらなる新しい都市の中核施設としての機能を発揮し各種業務を積極的に推進してまいります。

株式会社吉備高原都市サービス貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	【151,593,822】	流動負債	【9,333,822】
現金及び預金	141,551,031	未払金	6,143,237
売掛金	9,373,083	未払法人税等	296,500
たな卸資産	698,735	未払消費税等	585,500
前払費用	75,420	前受金	1,793,219
貸倒引当金	△ 104,447	預り金	152,632
		賞与引当金	362,734
固定資産	【17,967,173】	固定負債	【 0 】
有形固定資産	6,919,659		
建物	140,930		
車両・運搬具	52,551	負債の部合計	9,333,822
工具・器具・備品	171,618	純 資 産 の 部	
土地	6,554,560	株主資本	【160,227,173】
無形固定資産	299,936	資本金	150,000,000
電話加入権	299,936	資本剰余金	0
投資その他の資産	10,747,578	利益剰余金	10,227,173
長期金銭債権	10,730,868	その他利益剰余金	10,227,173
リサイクル法預託金	16,710	繰越利益剰余金	10,227,173
		評価・換算差額等	0
繰延資産	【 0 】	新株予約権	0
		純資産の部合計	160,227,173
資産の部合計	169,560,995	負債・純資産の部合計	169,560,995

株式会社吉備高原都市サービス損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		74,139,532
売 上 原 価		51,735,000
売 上 総 利 益		22,404,532
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		72,191,754
営 業 利 益		1,896,043
営 業 外 収 益		931,289
受 取 利 息	168,607	
引 当 金 戻 入 益	31,216	
有 価 証 券 利 息	176,500	
雑 収 入	554,966	
営 業 外 費 用		0
経 常 利 益		2,827,332
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益		2,827,332
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		296,500
当 期 純 利 益		2,530,832

平成23年度事業計画

岡山県のほぼ中央に位置する吉備高原都市は、県内の主要都市はもちろんのこと、岡山空港をはじめ、岡山自動車道などの広域交通網と直結し県外の都市からも気軽にアクセスすることができる中四国地方のクロスポイントとして有利な地域となっています。吉備高原の豊かな自然環境に恵まれ、古代から中世、現代へと長い歴史と伝統の中で豊かな文化や民俗を育んできた魅力のあふれる地域でもあります。

平成22年度は、吉備高原都市産業区に新たに米粉パン製造関連施設が操業を開始し都市機能の整備が図られたところであります。

更に、平成23年度は住宅団地も徐々にではあるが分譲が進んでおり、また産業区に新たに製紙企業の立地が予定されるなど都市の活性化が一層促進されるものと期待いたしています。

吉備高原都市センター区の核となる「きびプラザ」等の管理運営を行っています当社といたしましては、都市機能の充実によりさらなる定住人口の増加を期待しているところであり、今期も都市内各事業所や居住者の利便に供する施設として、入居テナントと一体となって「きびプラザ」の利用促進に努めるとともに都市内の案内業務やセンター区の活性化を促進し、賑わいのある場づくりに向けて積極的に取り組んで参ります。

今期の収支見込みでございますが、収入につきましては、テナント家賃収入等の増加が見込まれるなど対前年比104.5%の78,437千円を見込んでいます。

一方、支出につきましては、石油価格の大幅な上昇による光熱水費の増加が予想されることから、対前年比107.6%の77,741千円を見込んでいます。

これによりまして、税引後の当期純利益は400千円を見込んでいます。

このように、今期につきましては、大変厳しい状況が予想されますが、岡山県や吉備中央町をはじめ関係皆様方のご協力をいただきながら新規テナントの誘致や都市のにぎわいの創出に努め、新しい都市の中核施設としての機能を十分に発揮させていくことを目標に各種業務を推進してまいります。

21期 収支見込み

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

(単位:千円)

	摘 要	当年見込み	前年実績	増 減	備 考
収 益	1. 家賃等収入	43,424	41,506	1,918	
	2. 管理受託収入等	19,111	19,088	23	
	3. その他収益	15,902	14,477	1,425	
	計	78,437	75,071	3,366	
費 用	4. 販売費及び一般管理費	77,741	72,244	5,497	
	計	77,741	72,244	5,497	
特別 利益		0	0	0	
特別 損失		0	0	0	
損 益	税引前当期純利益	696	2,827	△ 2,131	
	法人税及び住民税	296	296	0	
	当 期 純 利 益	400	2,531	△ 2,131	